

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	社会 I	
科目基礎情報							
科目番号	1104			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械電子工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『明解歴史総合シンフォニア』帝国書院						
担当教員	與田 純						
到達目標							
幕末から日露戦争に至る日本の近現代史の展開を、日本を取り巻く国際環境などとも関連付けながら世界史的視野に立って総合的に考察させ、歴史的思考力と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	開国に至る経緯・事項を詳細に理解できている。			開国に至る基本的な経緯・事項を理解できている。		開国に至る基本的な経緯・事項を理解できていない。	
評価項目2	幕末期の国際情勢を詳細に理解できている。			幕末期の国際情勢を理解できている。		幕末期の国際情勢を理解できていない。	
評価項目3	明治維新に至る経緯・事項を詳細に理解できている。			明治維新に至る経緯・事項を理解できている。		明治維新に至る経緯・事項を理解できていない。	
評価項目4	明治維新期の国際情勢を詳細に理解できている。			明治維新期の国際情勢を理解できている。		明治維新期の国際情勢を理解できていない。	
評価項目5	日中の近代化政策を詳細に理解できている。			日中の近代化政策を理解できている。		日中の近代化政策を理解できていない。	
評価項目6	日清・日露戦争に至る経緯・事項を詳細に理解できている。			日清・日露戦争に至る基本的な経緯・事項を理解できている。		日清・日露戦争に至る基本的な経緯・事項を理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-(1)							
教育方法等							
概要	幕末から日露戦争に至る激動の50年間の日本の歴史を論じていく。緊張する今日の東アジア情勢や対米関係を理解するためには不可欠な、この時代についての深い知識と相対的な視野を身につけてもらう。						
授業の進め方・方法	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み込むことを通じて思考力を養い、音楽・映像教材などを用いて授業の理解を深めてもらう。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション アヘン戦争		アヘン戦争の経緯と日中に与えた影響を理解できている。		
		2週	黒船来航の要因 黒船来航		アメリカが日本の開国を求める背景を理解できている。 黒船来航にまつわる基本的な事項を理解できている。		
		3週	日露交渉 クリミア戦争		日露交渉にまつわる基本的な事項を理解できている。 クリミア戦争についての基本的な事項を理解できている。		
		4週	安政の五か国条約		アメリカが再度の条約締結を求めてきた背景を理解できている。 安政の五か国条約にまつわる基本的な事項を理解できている。		
		5週	南北戦争		南北戦争に至る経緯と基本的な経過を理解できている。 日本に与えた影響を理解できている。		
		6週	尊王攘夷運動 安政の大獄		薩・長・土・水戸で尊王攘夷運動が高まる歴史的背景を理解できている。 安政の大獄にいたる基本的な事項を理解できている。		
		7週	桜田門外の変 公武合体政策		桜田門外の変と公武合体政策にまつわる基本的な事項を理解できている。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	生麦事件 薩英戦争		生麦事件と薩英戦争にまつわる基本的な事項を理解できている。 薩摩のその後の政策の変化を理解できている。		
		10週	下関事件 下関戦争		下関事件と下関戦争にまつわる基本的な事項を理解できている。		
		11週	坂本龍馬と亀山社中 薩長同盟		坂本龍馬と亀山社中にまつわる基本的な事項を理解できている。 薩長同盟に至る経緯を理解できている。		
		12週	大政奉還		大政奉還に至る経緯を理解できている。		
		13週	鳥羽伏見の戦い 江戸無血開城		江戸城無血開城に至る経緯を理解できている。		
		14週	戊辰戦争①		戊辰戦争にまつわる基本的な事項を理解できている。		

		15週	戊辰戦争②	戊辰戦争にまつわる基本的な事項を理解できている。
		16週	前期末試験	
後期	3rdQ	1週	廃藩置県 身分制解体	廃藩置県など、明治政府の初期の改革について、基本的な事項を理解できている。
		2週	岩倉使節団の派遣	岩倉使節団が世界各地で得た知見を理解できている。
		3週	征韓論 日朝交渉	征韓論が唱えられる経緯を理解できている。 朝鮮の開国をめぐる国内事情を理解できている。
		4週	西南戦争	西南戦争に至る経緯、基本的な事項を理解できている。
		5週	文明開化①	富国強兵など、明治政府の近代化政策に関する基本的な事項を理解できている。
		6週	文明開化②	憲法制定など、明治政府の近代化政策に関する基本的な事項を理解できている。
		7週	洋務運動	洋務運動に関する基本的な事項を理解できている。 日本の近代化との相違点を理解できている。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	琉球処分 甲申事変	琉球処分が断行された経緯を理解できている。 甲申事変が起きた経緯・基本的な事項を理解できている。
		10週	脱亜論 日清戦争	福沢諭吉が脱亜論と唱えた背景を理解できている。 日清戦争の基本的な経過を理解できている。
		11週	台湾統治	日本の台湾支配に至る経緯を理解できている。 台湾支配の特徴について理解できている。
		12週	変法運動 義和団事件	変法運動の特徴・経過を理解できている。 義和団事件の発生の要因・経過を理解できている。
		13週	日露戦争への道	中国の半植民地化と日露戦争の背景を理解できている。
		14週	日露戦争 日露講和	日露戦争の基本的な経過を理解できている。 日露講和の内容を理解できている。
		15週	韓国併合と朝鮮支配	韓国併合に至る経緯を理解できている。 朝鮮支配の特徴について理解できている。
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
--	--	--	--	---	---	---

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	97	3	0	0	0	0	100
基礎的能力	97	3	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0